



ASD（自閉症スペクトラム）のある人の 就労上のバーンアウトとメンタルヘルス について考える

わが国では、知的障害のある人も含め、数多くのASD特性のある方が競争的環境における雇用就労を成し遂げています。最近では、就労上でその特性の存在に気づく人も増えてきました。いずれの場合も、当事者の一定の自己理解のもと、就労支援や合理的配慮の提供により、社会で良い働き手として活躍できることが知られています。

その一方で、ASD特性のある方が無理や我慢をしやすく、健康を保ち良い形で働き続けることに困難を抱えやすい事実も、一部の現場では知られるようになりました。

海外では、**ASD特有のバーンアウト（燃え尽き）**があることも、当事者や研究者から発信されています。そしてこれら**メンタルヘルス**に影響を及ぼす要因として、近年わが国では**過剰適応**が、海外では**カモフラージュ**が注目されています。

本セミナーでは、研究・臨床領域で指摘されている「**過剰適応、カモフラージュ、バーンアウト**」について、ミニレクチャーで押さえた後、**障害者雇用と就労支援の現場の実務者**を話題提供者に迎え、**ASD特性のある方の就労上のメンタルヘルス課題と支援のあり方**について、パネルディスカッションで考えていきます。

日時：2023年3月5日(日) 9:30～12:00

場所：オンライン(Zoom)

**対象：発達障害の支援関係者、障害者雇用・就労支援関係者、その他
当日、オンライン受講の環境準備が可能な方**

内容：ミニレクチャー、話題提供、パネルディスカッション（質疑応答）

<話題提供>

千田 若菜（ながやまメンタルクリニック）

山口 綾子氏（NRIみらい株式会社）

高橋 亜希子氏（エンカレッジ早稲田駅前）

<指定討論>

小川 浩（大妻女子大学人間関係学部）

<司会>

柴田 珠里（横浜市発達障害者支援センター）

Zoomによる
オンライン
開催

参加
無料

定員
70名



お申込方法

大妻女子大学共生社会文化研究所ホームページ (<http://www.iisc.otsuma.ac.jp>) 内の参加申込フォームよりお申し込みください。申込フォーム (<https://forms.gle/ix1MbCZ8on46arRk7>) には上のQRコードからもアクセスできます。定員に達し次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ

wakana.chida@otsuma.ac.jp（千田）